

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習(社会) I (DC203)		担当教員		梅野 潤子・裊 孝承・山下 彦		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本授業は、ディプロマポリシーに則りホスピタリティの精神を基盤とし、ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。具体的には、社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養うとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解することをねらいとする。</p>							④⑤⑥⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的な実践場面及びソーシャルワークの過程を想定した実践事例において、専門的な援助技術を使用できる。				課題レポート	40%	
情報収集、分析力	実践事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的なアセスメント及びプランニングができる。				小レポート	20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	与えられた課題に取り組み、個人及びグループワークを遂行できる。				グループワーク グループ発表	10% 10%	
多様性理解力	具体的な実践事例を通して、多様な被援助者について理解できる。				グループワーク グループ発表	10% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポート(40%)では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク(20%)では、基本的なコミュニケーション技術を活用しながら、毎回の有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。ポートフォリオ上の小レポート(20%)では、毎回のグループワークの成果を適切にまとめられるかを評価する。グループ発表(20%)では、毎回のグループワークの成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。フィードバックはその都度、ポートフォリオ上と授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等)は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15回の授業を展開する。実践事例を題材とした毎回のグループワーク(ディスカッションとプレゼンテーションを含む)及び実技を通して、ソーシャルワークにおける価値及び倫理と各種実践モデル及びアプローチへの理解を深める。具体的な実践場面及びソーシャルワークの過程を想定した実技指導により、各種理論に対する理解を深め、それらを応用できる専門的な援助技術の実技演習を行う。授業の案内や課題提示等はポートフォリオを活用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本SW教育学校連盟編(2021)『7 ソーシャルワーク演習 [社会専門]』中央法規 参考書：NPO法人日本SW研究会(2023)『医療福祉総合ガイドブック 2023年度版』医学書院 指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習』中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>毎回、グループワークを実施するため、教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行う。事例を通してソーシャルワークにおける医学モデル・社会モデル・生活モデルについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 182 頁の事例を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
2	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①	事例を通して行動変容アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 206 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
3	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②	事例を通して認知行動療法アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 210 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
4	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③	事例を通してナラティブ・アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 220 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
5	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ④	事例を通してストレング・スモデルについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 186 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
6	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑤	事例を通して問題解決アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 194 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
7	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑥	事例を通して危機介入アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 200 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
8	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑦	事例を通して心理社会的アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 190 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
9	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑧	事例を通してエンパワメント・アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 216 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
10	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑨	事例を通して家族システム論アプローチについて体験的に学ぶ。	予習：指定図書 227 頁の事例を読む。 復習：復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
11	<u>ケース発見とインテーク・アセスメント①</u>	・事例を通してケース発見・インテークの目的と特性について体験的に学ぶ。 ・事例の情報収集と分析を行う。 (エコマップ、利用者の生活歴、社会的資源把握など)	予習：教科書 26-33 頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
12	<u>アセスメント②</u>	事例を通してソーシャルワークにおける利用者の情報収集と分析について体験的に学ぶ。	予習：教科書 33-39 頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
13	<u>プランニングと支援の実施およびモニタリング</u>	事例を通してソーシャルワークにおける支援計画の立て方と支援実施、モニタリングについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 40-47 頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
14	<u>支援の集結と事後評価及びアフターケア</u>	事例を通してソーシャルワークにおける計画実行の支援結果の評価およびアフターケアについて体験的に学ぶ。	予習：教科書 48-51 頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）
15	まとめ	ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシーについて学ぶ。受講生自身による前期の振り返りとまとめを行う。	予習：実践モデルとアプローチ、SW プロセスの整理、教科書 52-58 頁を読む。 復習：授業の振り返りレポート（manaba で翌週授業日 0：00 までに提出）、課題レポート